

食料・農業・農村基本計画 (飼料作物関連抜粋)

第2 食料自給率目標

1. 食料自給率の向上に向けた取組の検証

(2) 農業生産面の検証・・・p.15

イ 計画策定後の推移

特に、飼料作物については、大幅な生産拡大を見込んでいたが、生産量は減少しており、目標数量を大きく下回っている状況である。

ウ 要因

前基本計画が描いたシナリオが実現していない要因としては、・・・

農業生産の重要な基盤となる農地については、農業従事者の減少・高齢化が進む中で地域における農地利用の中心的な受け皿となる担い手の育成・確保が進んでいないこと、低・未利用地の活用の観点からも期待されていた耕畜連携による飼料作物生産が進まなかったこと等により、効率的な農地利用が実現しておらず、逆に不作付地・耕作放棄地が増加していること等が挙げられる。

(第3表) 品目別の生産の推移・・・p.16

(単位：万トン)

	平成 9年度	<中略>	平成 15年度	平成 22年度
飼料作物	394		352	508

3. 食料自給率の向上に向けて重点的に取り組むべき事項

(2) 農業生産・・・p.20,21

農業生産については、農業者その他の関係者が、これまで以上に消費者や実需者のニーズに的確かつ積極的に対応することを通じて国内農業生産を拡大することが重要である。このため、以下に掲げる事項に重点的に取り組む。

ウ 効果的な農地利用の推進

農地は、農業生産にとって最も基礎的な資源であり、国民に対する食料の安定供給にとって重要な基盤であることから、それが最大限に利用されることにより、需要に即した国内農業生産が増大するよう、担い手への農地の利用集積や新規参入の促進、農業生産基盤の整備、県域を超えたりレー方式による生産、耕畜連携による飼料作物の生産、飼料用稲の新品種の開発等を通じて、不作付地・耕作放棄地の解消等を含め、農地の効率的な利用と利用率の向上を図る。

4 . 食料自給率の目標

(2) 生産努力目標 p.28,29,33

(第 5 表) 平成 2 7 年度における生産努力目標及びその実現に向けて取り組むべき課題
(単位 : 万トン)

	平成 15年度	平成 27年度	農業者その他の関係者が 積極的に取り組むべき課題
飼料作物	352	524	転作田での飼料用稲等の作付の拡大、国産稲わらの利用拡大等により、飼料作物の生産を拡大 低・未利用地等を活用した放牧の拡大、草地の効率的な利用、優良多収品種の育成・普及、支援組織等の育成・活用等を通じて生産コストを3割程度低減

(第 6 表) 主要品目の 1 0 アール当たり収量

(単位 : k g)

	平成15年	平成27年
飼料作物	3,800	4,534

(第 7 表) 主要品目の作付面積

(単位 : 万 h a)

	平成15年	平成27年
飼料作物	93	110

(第 1 3 表) 主食用穀物の自給率、飼料用を含む穀物全体の自給率及び飼料自給率の目標

(単位 : %)

	平成15年	平成27年
主食用穀物自給率	60	63
飼料用を含む穀物全体の自給率	27	30
飼料自給率	24	35

(参考付表)

(第1表) 主要品目における対応方向・・・p.3

	主な対応方向
飼料作物	<p>耕畜連携の強化により、稲発酵粗飼料や水田裏作飼料の生産、国産稲わらの飼料利用、良質なたい肥の耕種農家への供給等の取組を推進</p> <p>耕作放棄地、野草地、林地等の低・未利用地や水田を活用した放牧、畜産農家への農地利用の集積・団地化、計画的な草地更新、地域の条件に適した多収品種の育成・普及を推進</p> <p>コントラクターや公共牧場の活用による飼料生産の組織化・外部化やこれらの支援組織の自給飼料を主体とした完全混合飼料の調整・供給まで受託する組織への発展を推進</p>

(第2表) 研究・技術開発の展望・・・・・・・・p.4,5,6

	今後10年間の主な達成目標（数値目標は研究開発段階での達成水準）
生産技術	
畜産	<p>水田や耕作放棄地等を活用した肉用繁殖牛の周年放牧飼養技術、放牧草地からの栄養摂取量推定手法の開発とその技術を用いた放牧酪農における精密飼養管理技術を開発</p>
飼料作物	<p>稲発酵粗飼料について、収量が高く（11TDNトン/ha）直播適正やいもち病抵抗性の高い品種の育成、汎用型の自走式ロールベラーの開発、ロールベールや混合飼料の梱包・流通技術の改良等により、生産コストを3割程度低減</p> <p>各地域に適した収量が多いトウモロコシ（11～13TDNトン/ha）牧草（例：チモシー6TDNトン/ha）の品種を育成</p>
先端技術の活用	<p>新たな育種技術を活用し、収量性や機能性を飛躍的に向上させた作物（食用、飼料用、油糧用等）の開発</p>